

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	整形外科学	講義	3	60	解剖学・生理学・柔道整復学
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 2年	深澤進次	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>柔道整復師に、必要十分な整形外科学分野の基本的知識を、教科書(社団 全国柔道整復学校協会監修 整形外科)を中心に授業を進める。 医学臨床分野、医学基礎分野を理解することにより、柔道整復施の知識の向上、学術分野の飛躍を目標とする。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>疾患別各論 8-A感染性疾患 8-B-1骨腫瘍 8-B-2軟部腫瘍 8-C非感染性疾患 8-D全身性の骨・軟部疾患 8-E骨端症 8-F四肢循環障害 8-G神経・筋疾患 9身体部位別各論 A-1頸部 A-2胸部 A-3腰部 B-1肩・肩甲帯 B-2上腕・肘関節 B-3前腕・手関節 B-4手・手指 C-1骨盤・股関節 C-2大腿・膝関節 C-3下腿・足関節 C-4足・足趾</p>					
教科書・参考書					
教科書：公益社団法人全国柔道整復学校協会監修「整形外科学」、「柔道整復学・理論編」					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】 ●配布プリントの再印刷はしませんので、大切に保管して下さい。</p>					
成績評価方法					
評価 方法	評価 割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期 試験	100	定期試験(前期と後期)において成績評価を行う (定期試験を2回/年実施)			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		感染性疾患 (総論)		/	深澤
2		感染性疾患 (検査・画像診断)		/	深澤
3		感染性疾患 (治療)		/	深澤
4		骨腫瘍(1)		/	深澤
5		骨腫瘍(2)		/	深澤
6		軟部腫瘍		/	深澤
7		非感染性疾患		/	深澤
8		非感染性疾患		/	深澤
9		骨端症		/	深澤
10		四肢循環障害		/	深澤

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		神経・筋疾患(1)		/	深澤
12		神経・筋疾患(2)		/	深澤
13		復習		/	深澤
14		◆定期試験(前期)		/	深澤
15		定期試験(前期)解答解説		/	深澤
16		疾患別各論まとめ		/	深澤
17		身体部位別各論 (頸部)		/	深澤
18		身体部位別各論 (胸部)		/	深澤
19		身体部位別各論 (腰部)		/	深澤
20		復習		/	深澤

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		身体部位別各論 (肩・肩甲帯)		/	深澤
22		身体部位別各論 (上腕・肘関節)		/	深澤
23		身体部位別各論 (前腕・手関節)		/	深澤
24		身体部位別各論 (手・手指)		/	深澤
25		復習		/	深澤
26		身体部位別各論 (骨盤・股関節)		/	深澤
27		身体部位別各論 (大腿・膝関節)		/	深澤
28		身体部位別各論 (下腿・足関節) (足・足趾)		/	深澤
29		◆定期試験(後期)		/	深澤
30		定期試験(後期)解答解説		/	深澤